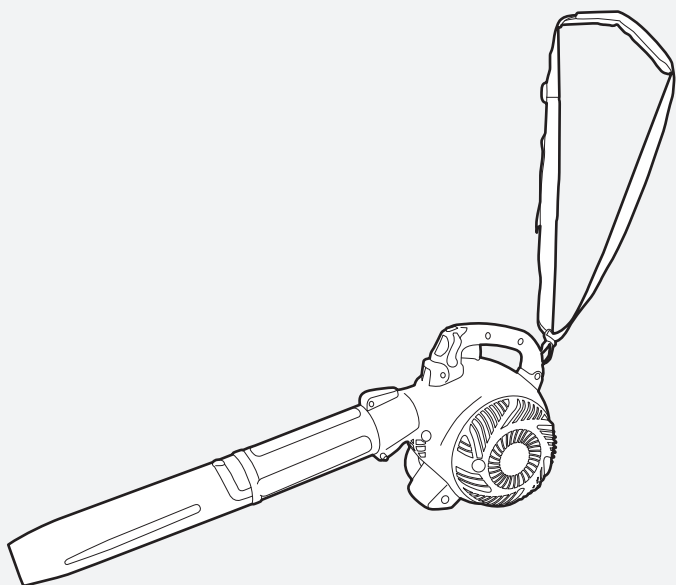


# エンジンブロワ

## GBW-260EA



### お客様へ

●本製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

## 取扱説明書

ご使用前に本紙最終ページ「保証書」を必ずお読みになり、内容をご確認・ご了承ください。

また、取扱説明書の内容を十分理解したうえで使用し、お手元に大切に保管してください。

### 目次

<b>お使いになる前に</b>	<b>1</b>
安全にお使いいただくために	
エンジン製品を安全にお使いいただくために	
本製品を安全にお使いいただくために	
<b>本製品について</b>	<b>8</b>
用途	
各部の名称・セット内容	
仕様	
<b>使用前の準備</b>	<b>10</b>
各部の取付け	
燃料の準備	
給油	
<b>使い方</b>	<b>15</b>
操作方法	
エンジンのかけ方・止め方	
作業方法	
<b>お手入れ</b>	<b>22</b>
エンジンの調整	
エアフィルターのお手入れ	
点火プラグのお手入れ	
お手入れと保管	
故障かな?と思ったら	
お手入れチェック表	
<b>お買上げの後に</b>	<b>31</b>
保証書	

# お使いになる前に




## 安全にお使いいただくために

- 必ず取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。取扱いに不慣れな人や正しい操作のできない人はお使いにならないでください。
- 本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険がおよぶ可能性を防止するために、下記のように『警告』・『注意』・『注』

の3種に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってお使いください。

また、本製品は家庭用として開発されています。家庭用としてお使いください。

- 『注意』に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

 <b>警告</b>	人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容
 <b>注意</b>	人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容
 <b>注</b>	本製品や付属品の取扱いなどに関する重要な注意事項

## エンジン製品を安全にお使いいただくために

※本項目は共通項目ですので、製品により内容が一致しない場合があります。

### **警告**

#### 1. 作業場所はいつもきれいに保ってください。

- 作業場所はいつも整理・整頓し、きれいに保ってください。また、作業の妨げになる物は取り除いてください。

#### 2. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 作業場は十分明るくしてください。
- ガソリン・シンナー・塗料・接着剤等引火性の液体や可燃性の物、ガスのある場所では使用しないでください。(爆発・火災の原因)
- 濡れた場所や湿気の多い場所・雨中では使用しないでください。(感電・故障の原因)

#### 3. 作業者以外を近づけないでください。

- 特にお子様は作業場や本製品に近づけないでください。

#### 4. 作業に適した服装で作業してください。

- 作業をするときは保護めがねを着用し、粉じんなどが多く発生する作業では保護マスクを着用してください。

- 作業に適した服装(すそじまりの良い長袖・長ズボン)で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は回転部に巻き込まれるおそれがあるので着用しないでください。
- 軍手など巻き込まれるおそれのある素材の手袋は着用しないでください。
- 長い髪は巻き込まれないように注意してください。
- 粉じんなどが多く発生する作業では保護マスクを着用してください。

## 5. 損傷した部品がないか確認してください。

- 製品開封後は梱包内容を確認し、輸送による破損・ゆるみ・ひび割れ等本製品や付属品に異常がないことを確認してください。
- 作業前には必ず試運転を行い、本製品の破損・ゆがみ・異常音等がないことを確認してから作業してください。
- 本製品を誤って落としたりぶつけたときは、破損や亀裂がないことを確認してください。

## 6. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外の物は使用しないでください。  
また、取扱説明書に従って正しく取り付けてください。(部品脱落や故障によるけがの原因)

## 7. 調整や点検に用いた工具は必ず取り外してください。

- エンジンを始動させる前に、調整・取付けに用いた工具が取り外されていることを確認してください。

## 8. 作業に合った製品を使用してください。

- 指定された用途以外に使用しないでください。

## 9. 無理な使用をしないでください。

- 安全に能率良く作業するため、製品の能力に合わせて作業してください。
- 足元の不安定な場所や無理な姿勢で使用しないでください。

## 10. 本製品と燃料の取扱いには十分に注意してください。

- 燃料が目に入ったり肌に付着した場合、アレルギーや炎症のおそれがあります。  
異常がある場合は、直ちに専門医に相談してください。
- 燃料の持ち運びや保管、取扱いには十分に注意してください。
- 本製品を使用するときや燃料の混合・給油をするときは、火気のないところで行ってください。

## 11. 通気孔をふさがないでください。

# お使いになる前に(続き)

- 本製品の通気孔は本体を冷やすために必要ですので、布などで覆ってふさがないでください。(火災・故障の原因)

## 12. エンジンの排気ガスは有害です。屋内など風通しの悪い場所で使用しないでください。

- 通気の悪い場所で使用すると一酸化炭素中毒の原因になります。

## 13. 始動時及び使用中はプラグキャップ部・プラグコードに手を触れないでください。

- 感電するおそれがあります。

## 14. 加工物はしっかりと固定してください。

## 15. 本体作動部には触れないでください。

- 作動中回転部やその付近に手や身体、顔を近づけないでください。(けがの原因)

## 16. 作動している状態のまま放置しないでください。

## 17. 油断せず、十分注意して使用してください。

- 本製品を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況等に十分注意して慎重に使用してください。
- 疲れていたり、体調のすぐれないとき・酒類や薬物を飲んで正常な運転ができないとき・夜間・妊娠中は使用しないでください。
- 長時間の連続作業は疲労による事故の原因となります。

## 18. やけどに注意してください。

- 使用直後は、本体や加工物が熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないようにしてください。

## 19. 点検整備するときは、エンジンを停止させてエンジンが冷えてから行ってください。また、点火プラグからプラグキャップを外してください。

- 停止直後やプラグキャップを付けたままですと、やけどや不用意な始動による事故の原因になります。

## 20. 使用しないときはきちんと保管してください。

- 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した場所で、お子様の手の届かない安全な場所や、鍵のかかる場所にきちんと保管してください。

## 21. 分解・改造をしないでください。

- 本製品にはいかなる改造も加えないでください。

## 22.ご自分で修理しないでください。

- 故障・異常時は直ちにエンジンを停止させて本製品の使用を中止し、お買上げの販売店にお申しつけください。又は(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は大切に保管してください。  
また、本製品を貸し出す場合は、この取扱説明書も一緒に渡してください。

# お使いになる前に(続き)

## 注意

1. エンジンの始動や使用時は、周囲の人や障害物に十分注意して必ず一人で操作してください。二人以上で作業する場合は安全な距離をおいてください。
2. エンジンの始動は、安定性の良い場所で行ってください。
3. 騒音に注意してください。
  - 法令及び各都道府県等の条例で定められた騒音防止規制を守り、周辺に迷惑をかけないよう状況に応じて遮音壁を設けるなどして規制値以下で使用してください。
4. 作業後の加工物に注意してください。
  - 作業直後の加工物は熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないでください。(やけどの原因)
  - 作業後の加工物には、かえりができていることがありますので注意してください。(けがの原因)
5. 長時間の継続作業はしないでください。疲労による事故・手のしびれ・ハクドウ症の原因になります。
6. こまめにお手入れしてください。
  - 安全に能率よく作業するために刃物類は常にお手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  - 本製品は定期的に点検し、損傷している場合はお買上げの販売店に修理をお申しつけください。又は(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
  - 本製品に油やグリースが付着した場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
  - 汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
  - ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジン等は使用しないでください。(故障・破損の原因)
7. 長期間ご使用にならないときは、燃料タンクやキャブレター等から燃料を全て抜いて乾燥したきれいな場所で保管してください。
8. その他
  - 火のそばや閉め切った車内・直射日光の当たる場所・高温になる場所には、放置・保管しないでください。変形・変色・劣化のおそれがあります。

## 本製品を安全にお使いいただくために

### 警告

1. 取扱説明書に記載されている用途・能力以上の作業に使用しないでください。
  - ノズルを絞り込む行為(ノズル先端に小径ホースを取り付けるなど)やノズルをふさいだりする行為はしないでください。(けが・火災・破損の原因)
  - ボールやゴムボート等に空気を充填する目的では使用しないでください(けが・火災・破損の原因)
2. 燃料を補給した場所でエンジンを始動させないでください。燃料を補給した場所から3m以上離れた場所でエンジンを始動させてください。
3. 送風口・吸込口に指や手を入れないでください。(けがの原因)
4. 使用中はノズルの先端を人に向けないでください。(けがの原因)
5. 精密機械への吹き付けには使用しないでください(破損の原因)
6. たき火などの火元の近くで使用しないでください。
7. 必ずノズルを取り付けた状態で使用してください。
8. 使用中は本体を確実に保持してください。
9. 体調のすぐれないときや作業に疲れたときは使用を控えてください。また、炎天下の作業はできるだけ避けてください。作業をする場合は暑さ対策をし、体調に十分に注意してください。
10. マフラーやその周辺は高温になりますので触れないでください。

### 注意

1. 作業場所に大きな木片・金属・ガラス・石等がある場合は取り除いてから作業を行ってください。(けがの原因)
2. 常温(0~40℃)で使用してください。
3. 狭い場所などで作業したり、風上に向かって送風すると、吹き飛ばした物が自分に跳ね返ることがありますので注意してください。
4. 吸い込まれるおそれのある物を吸込口に近づけないでください。内部のファンに巻き付いてけがや故障の原因となるおそれがあります。

## お使いになる前に(続き)

注

- 本製品は吹き飛ばし専用です。



# 本製品について

## 用途

◆落ち葉などの吹き飛ばし清掃に

## 各部の名称・セット内容

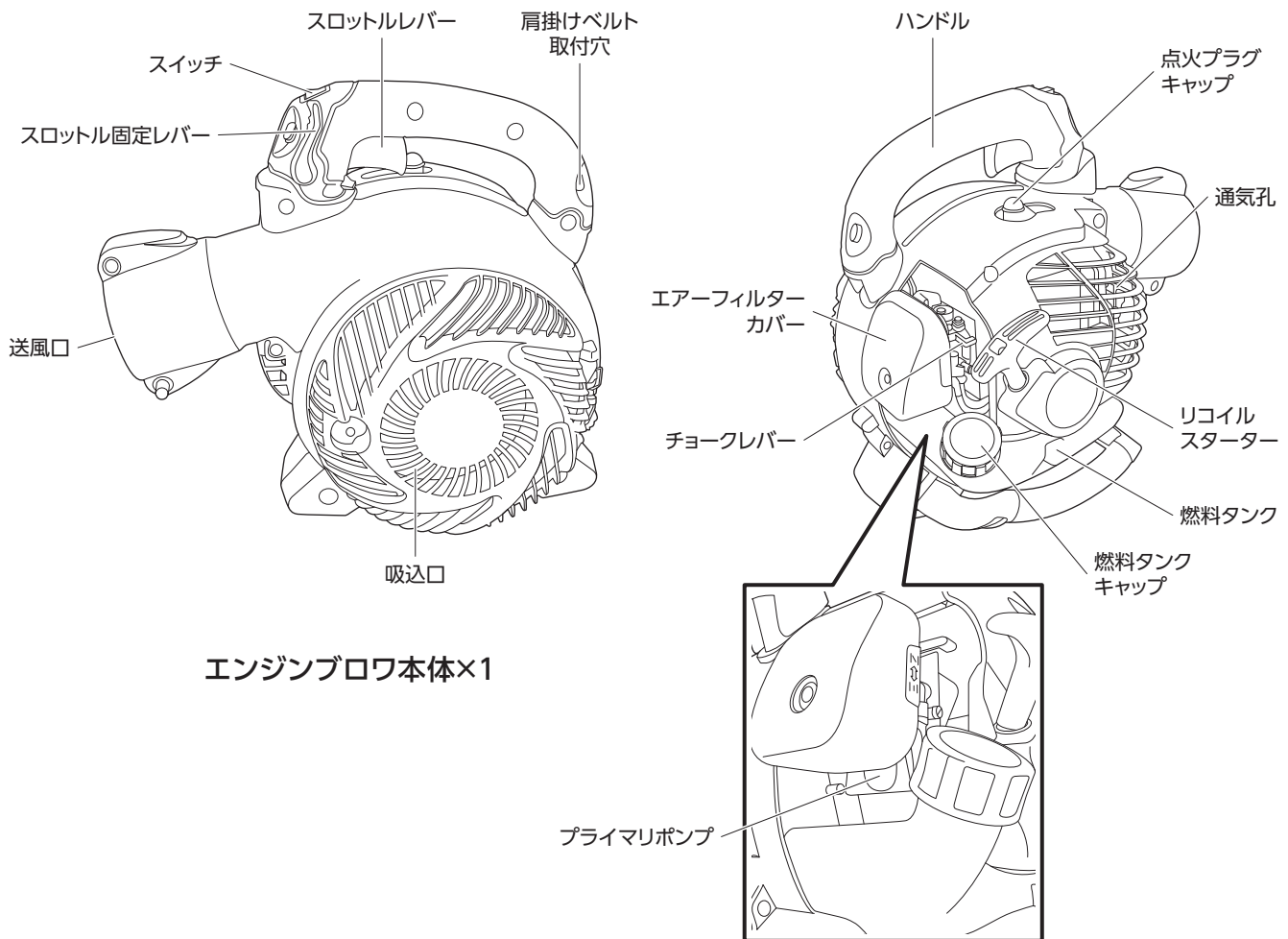
### 要確認

初めて梱包を開封したときは、下記の内容について確認してください。

- 付属品が全て揃っているか
- 破損した箇所はないか

万一、不具合な点がありましたら、お買上げの販売店又は(株)高儀までご連絡ください。

### 本体



# 本製品について(続き)

## 付属品



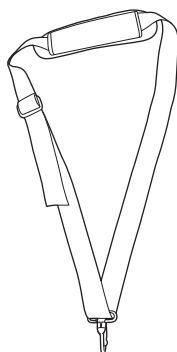
ノズル(根本側)×1



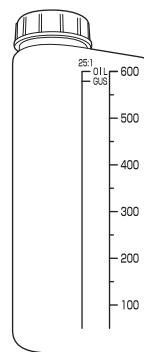
ノズル(先端側)×1



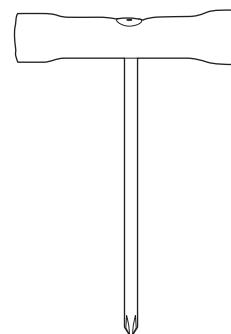
六角棒レンチ(5mm)×1



肩掛けベルト×1



混合器×1



コンビボックス  
スパナ×1

## 仕様

### ●本体 (GBW-260EA)

区分	項目		
エンジン	エンジン型式	単気筒空冷2サイクルガソリンエンジン	
	排気量	25.4ml	
	燃料タンク容量	450ml	
	始動方式	リコイルスターター	
使用燃料	使用燃料	潤滑油混合ガソリン	
	混合比	25 (無鉛ガソリン) : 1 (2サイクル専用オイル)	
風	量	12m <sup>3</sup> /min	
風	速	70m/s	
運	転	音	約83dB/m
本	体	サイズ	約 長さ950×幅265×高さ330 (mm) (ノズル含む)
質		量	約4.2kg

※製品改良のため、仕様・外観は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

# 使用前の準備

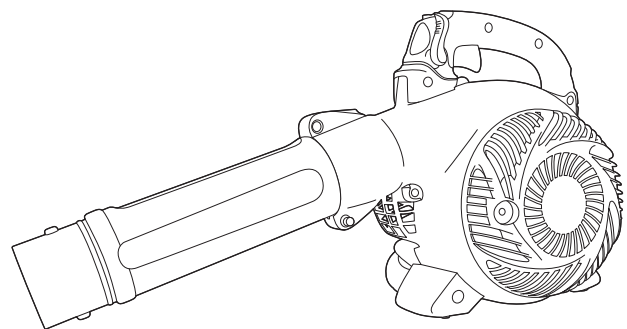
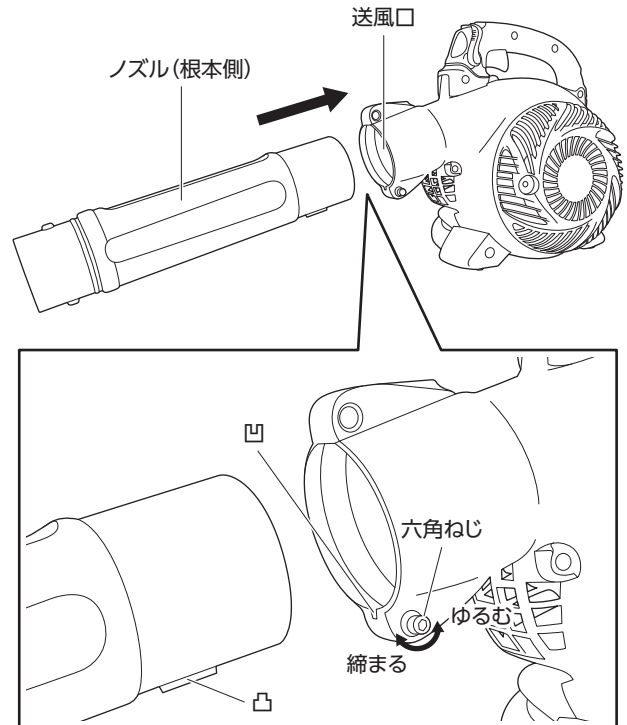
## 各部の取付け

### ⚠ 警告

●各部の取付けをするときは、必ずスイッチを切りエンジンを停止させてください。

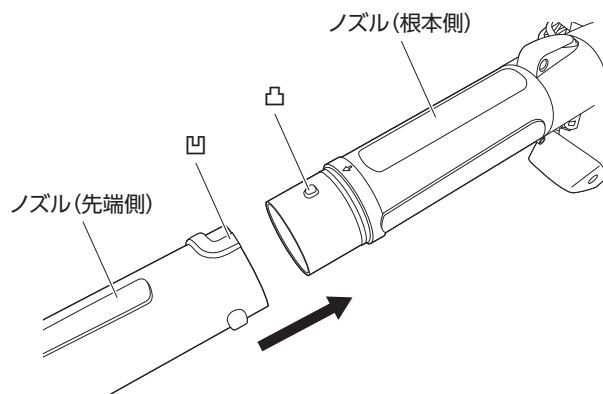
### ノズルの取付け

1. 本体送風口の下にある六角ねじを付属の六角棒レンチでゆるめてください。
2. ノズル(根本側)の底部にある凸と本体送風口下部にある凹を合わせ、ノズル(根本側)を本体送風口に差し込んでください。
3. 六角ねじを付属の六角棒レンチでしっかりと締めてください。

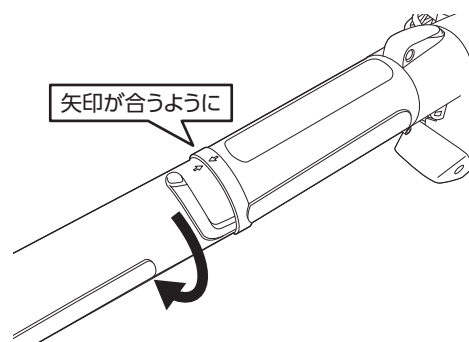


## 使用前の準備(続き)

4. ノズル(根本側) 上部にある凸とノズル(先端側) 上部にある凹を合わせ、ノズル(先端側) をノズル(根本側) に差し込んでください。



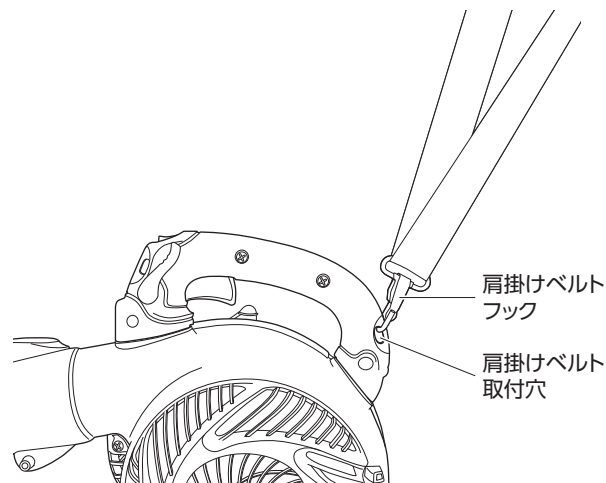
5. ノズル(先端側) を右図のように回して先端側と根本側両方にある矢印が合うまで締め込んでください。



### 肩掛けベルトの取付け

- 肩掛けベルト取付穴に肩掛けベルトのフックを取り付けてください。

※ 肩掛けベルトを使用することにより安定して作業することができます。



## 燃料の準備

### ⚠ 警告

- 混合燃料は引火性の高い燃料です。必ず火気厳禁を守ってください。燃料はエンジンを停止して、エンジンが冷えてから補給してください。
- 本製品や燃料の取扱いには十分に注意してください。
- 燃料の持ち運びや保管、取扱いには十分に注意してください。燃料が目に入ったり肌に付着した場合、アレルギーや炎症のおそれがあります。異常がある場合は、直ちに専門医に相談してください。

### ⚠ 注意

- 混合燃料がタンク内やキャブレター内に残ったまま長時間放置すると、混合燃料が変質してエンジンがかからなくなります。1週間以上使用しない場合は、必ず混合燃料を抜き取ってください。
- 混合燃料を樹脂製タンクに保管すると、樹脂の成分が燃料の中に溶けだしてエンジン故障の原因になります。
- ガソリンだけで運転すると、エンジンが焼き付き故障します。必ず混合燃料を使用してください。

### 燃料混合比

- 燃料は無鉛ガソリンに2サイクル専用オイルを25(ガソリン):1(オイル)の割合に混合した混合燃料を使用してください。

アルコール混入燃料は、ゴム製部品の劣化を早めるので使用しないでください。

※ガソリン・オイルの種類や混合比が異なりますと、エンジン不調の原因となります。

燃料混合比

無鉛ガソリン **25** : 2サイクル専用オイル **1**

ガソリン	2サイクル専用オイル
1ℓ	40ml
5ℓ	200ml

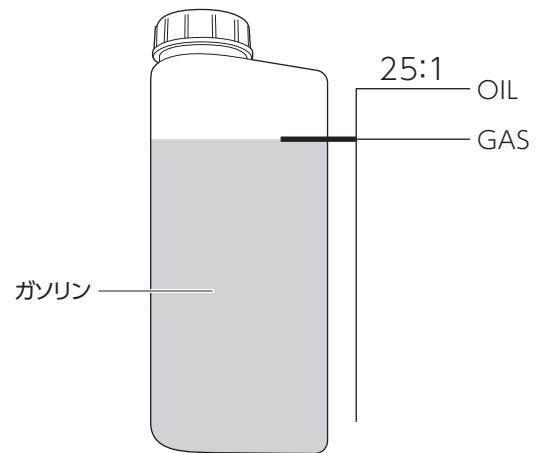
- 混合燃料は劣化しやすいため、1回で使い切る量だけ作ってください。1カ月以上経過すると揮発したり、腐敗してエンジンが故障します。

# 使用前の準備(続き)

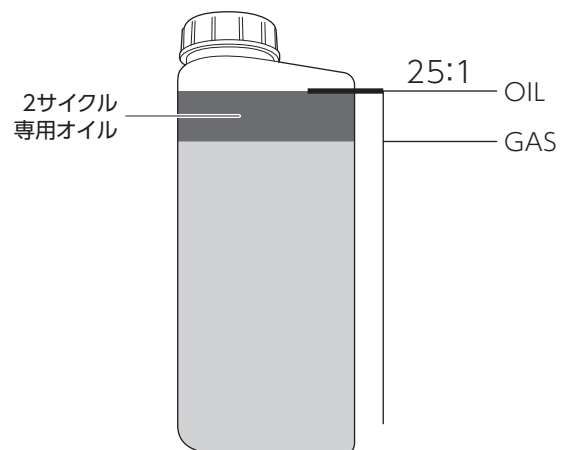
## 燃料の作り方(付属の混合器を使用した場合)

混合燃料は必ず混合器で作ってください。  
混合器はいつもきれいにして使用してください。

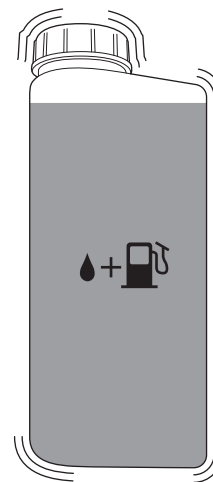
1. 混合器「25:1」の「GAS」のところまでガソリンを入れてください。



2. 混合器「25:1」の「OIL」のところまで2サイクル専用オイルを入れてください。



3. 混合器のキャップを確実に締め、混合器をよく振ってガソリンとオイルを混合してください。



# 給油

## 警告

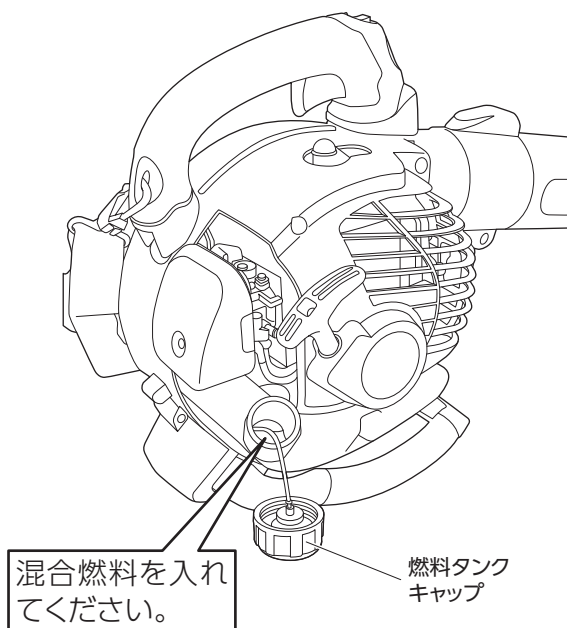
- 給油するときは、火気のないところで行ってください。
- 作業の途中で給油する場合も、必ずエンジンを停止し、冷えてから行ってください。
- タンクキャップは確実に締めてください。
- 給油時にこぼれた燃料はエンジンをかける前に必ず布などでよく拭き取ってください。

## 注意

- 燃料を入れすぎると、タンクの通気バルブから漏れるおそれがあります。給油のときは、タンク内部に少し空間を残してください。

### 燃料の給油

- 1.屋外の平坦な場所に本体を置いてください。
- 2.燃料タンクキャップを少しゆるめて、タンク内と外の気圧差をなくしてください。
- 3.燃料タンクキャップを完全に取り外し、少しずつゆっくり給油してください。混合燃料は燃料タンクの8分目を目安に入れてください。
- 4.給油が終わったら燃料タンクキャップを確実に締め付け、燃料漏れがないことを確認してください。



# 使い方

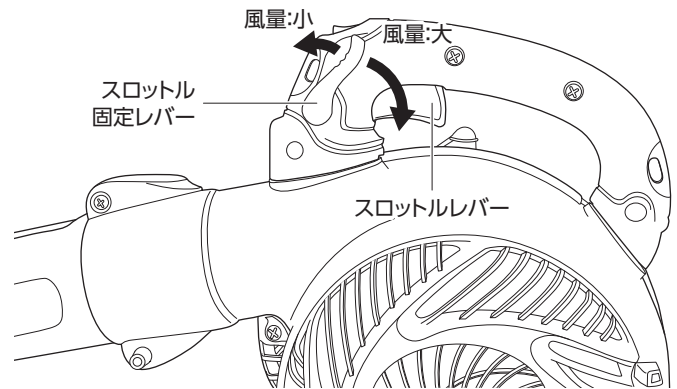
## 操作方法

### スロットルレバー

- スロットルレバーを握ると風量が大きくなり、離すと風量が小さくなります。

### スロットル固定レバー

- スロットル固定レバーを使用することで設定した風量で作動し続けます。  
スロットル固定レバーを下げると風量が大きくなり、上げると風量が小さくなります。








## エンジンのかけ方・止め方

### 警告

- 各部品・部位が欠落・破損した状態での運転は大変危険です。全部品が確実に組みつけられた状態で、各部に異常がないことを確認したうえで使用してください。
- エンジンの始動は必ず給油した場所から3m以上離れたところで行ってください。給油した場所で始動すると引火による火災のおそれがあります。
- エンジンの排気ガスは有害です。屋内など風通しの悪い場所で使用しないでください。通気の悪い場所で使用すると一酸化炭素中毒の原因になります。

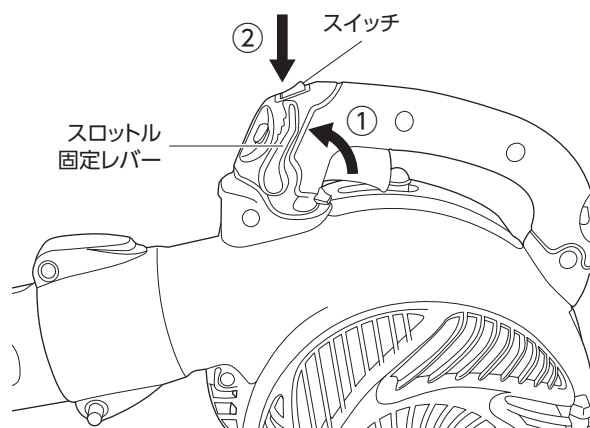
### 注意

- 始動時は本体を地面に置いて確実に保持してください。本体を持ち上げたまま始動しないでください。
- ノズルの先端が吹き飛ばしてしまう物に向いていないことを確認してください。
- 始動時及び使用中はプラグキャップ・プラグコードに手を触れないでください。感電するおそれがあります。
- 最初の爆発音を聞き逃して、チョークレバーを閉()にしたまま始動操作を繰り返すと燃料の吸い込み過ぎでエンジンがかかりにくくなる場合があります。リコイルスターターを繰り返し引いてもエンジンがかからない場合は、チョークレバーを開()の位置まで戻してからエンジンがかかるまでリコイルスターターを引くか、点火プラグを取り外して電極を乾燥させてから元のようにつけ、チョークレバーを開()の位置に戻して始動操作をやり直してください。
- リコイルスターター故障の原因になりますので、引きヒモの2/3以上は引き出さないでください。また、リコイルスターターノブから手を放して戻したりしないでください。
- スロットルレバーを握りながら、リコイルスターターを引かないでください。

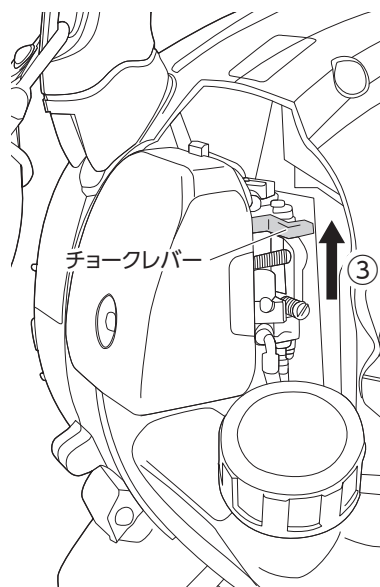
# 使い方(続き)

## 冷えたエンジンのかけ方

1. 混合燃料がタンクに入っていることを確認してください。
2. スロットル固定レバーが風量:小の位置になっていることを確認してください。(①)
3. スイッチのON側(1)を押してください。(②)

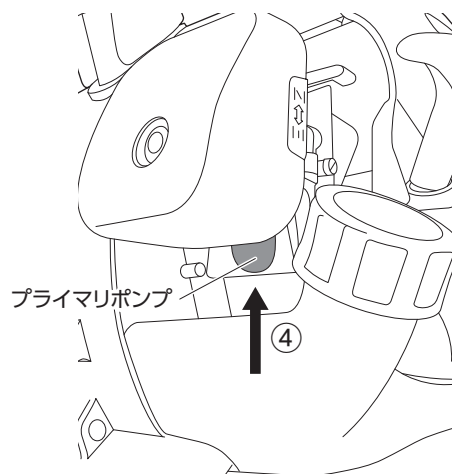


4. チョークレバーを閉( | )の位置にしてください。(③)



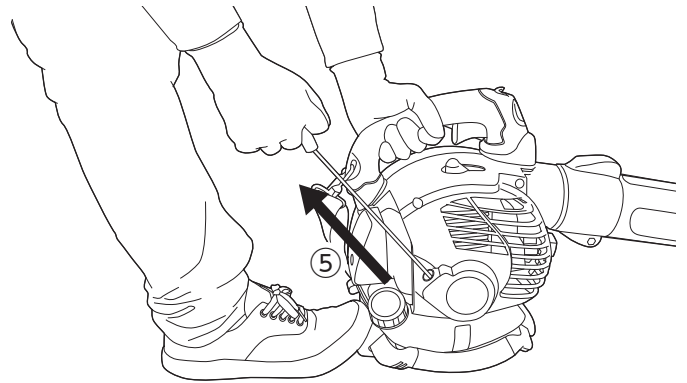
5. プライマリポンプを、内部に燃料が現れるまで数回指で押し離す操作を繰り返してください。(④)

※燃料タンク内に燃料があり、エンジン停止直後に再始動する場合はプライマリポンプの操作は必要ありません。



6. 本体を安定した地面に置き、周囲に障害物がないことを確認してから左手でハンドルを握り、右足で本体を押さえながら右手でリコイルスターターを素早く引いてください。(5)

※故障の原因になりますので、引きヒモの2/3以上は引き出さないでください。

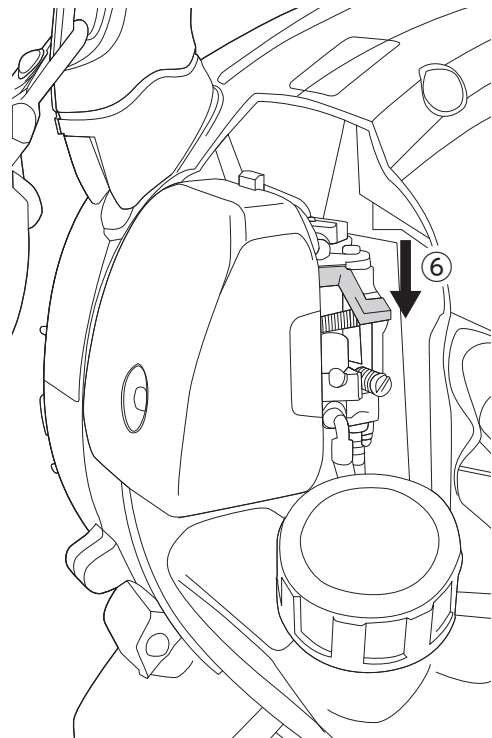


7. 最初の爆発音(初爆※1)がするまで繰り返しリコイルスターターを素早く引いてください。  
最初の爆発音の後にエンジンが始動しなかった場合は8.へ、始動した場合は9.へ進んでください。

※1 「ボボボ」という音ではなく、「ブウン」という音が出れば初爆完了です。

※チョークレバーが閉( | | )の状態のまま、いつまでも繰り返しリコイルスターターを引き続けると、燃料を吸い込み過ぎて始動しなくなります。燃料を吸い込み過ぎたときは、点火プラグを外し(P.24参照)点火プラグの電極部とシリンダー内部を完全に乾かしてから元のように取り付けてください。

8. チョークレバーを開( | | )の位置に戻してから(6)リコイルスターターを引いてエンジンを始動させてください。




9. エンジンが始動したらチョークレバーを開( | | )の位置に戻してください。(6)

その後、2~3分間スロットルレバーを握ったり戻したりを繰り返して暖機運転を行ってください。

気温が低いときは十分な暖機運転が必要です。エンジンの回転が安定し、低速から高速回転にしたときに滑らかに加速するようになれば暖機運転完了です。

# 使い方(続き)

## 暖まったエンジンのかけ方

- 1.スロットル固定レバーが風量:小の位置になっていることを確認してください。
- 2.スイッチのON側( I )を押してください。
- 3.チョークレバーを開(  )の位置にしてください。
- 4.本体を安定した地面に置き、周囲に障害物がないことを確認してから左手でハンドルを握り、右足で本体を押さえながら右手でリコイルスターターを素早く引いてください。  
※故障の原因になりますので、引きヒモの2/3以上は引き出さないでください。

## エンジンの止め方

- 1.スロットル固定レバーを風量:小の位置に戻し、スロットルレバーを戻してしばらく運転します。
- 2.スイッチのOFF側( O )を押して、エンジンを止めてください。

# 作業方法

## 警告

- 取扱説明書に記載されている用途・能力以上の作業に使用しないでください。
- ノズルを絞り込む行為(ノズル先端に小径ホースを取り付けるなど)やノズルをふさいだりする行為はしないでください。(けが・火災・破損の原因)
- ボールやゴムボート等に空気を充填する目的では使用しないでください(けが・火災・破損の原因)
- 送風口・吸込口に指や手を入れないでください。(けがの原因)
- 使用中はノズルの先端を人に向けしないでください。(けがの原因)
- 精密機械への吹き付けには使用しないでください(破損の原因)
- たき火などの火元の近くで使用しないでください。
- 必ずノズルを取り付けた状態で使用してください。
- 使用中は本体を確実に保持してください。
- 体調のすぐれないときや作業に疲れたときは使用を控えてください。また、炎天下の作業はできるだけ避けてください。作業をする場合は暑さ対策をし、体調に十分に注意してください。

## 注意

- 作業場所に大きな木片・金属・ガラス・石等がある場合は取り除いてから作業を行ってください。(けがの原因)
- 狭い場所などで作業したり、風上に向かって送風すると、吹き飛ばした物が自分に跳ね返ることがありますので注意してください。
- 吸い込まれるおそれのある物を吸込口に近づけないでください。内部のファンに巻き付いてけがや故障の原因となるおそれがあります。

## 注

- 本製品は吹き飛ばし専用です。

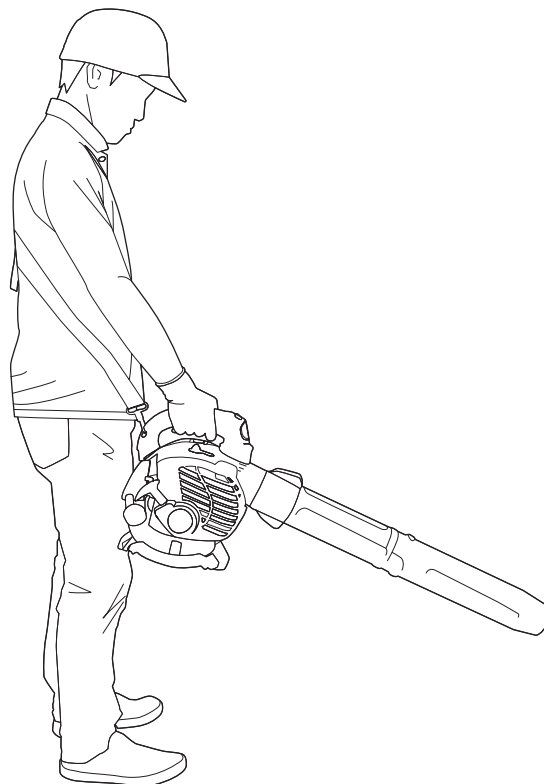
# 使い方(続き)

1.P16～19「エンジンのかけ方」を参照してエンジンを始動させてください。

2.肩掛けベルトを肩に掛け、作業しやすい位置にベルト長さを調整してください。

3.スロットルレバーでエンジンの回転数を調節しながら作業をしてください。

※スロットル固定レバーを使うことでスロットルレバーを握らなくても設定した回転数で作業し続けられます。(P.15参照)



# お手入れ

## エンジンの調整

### 警告

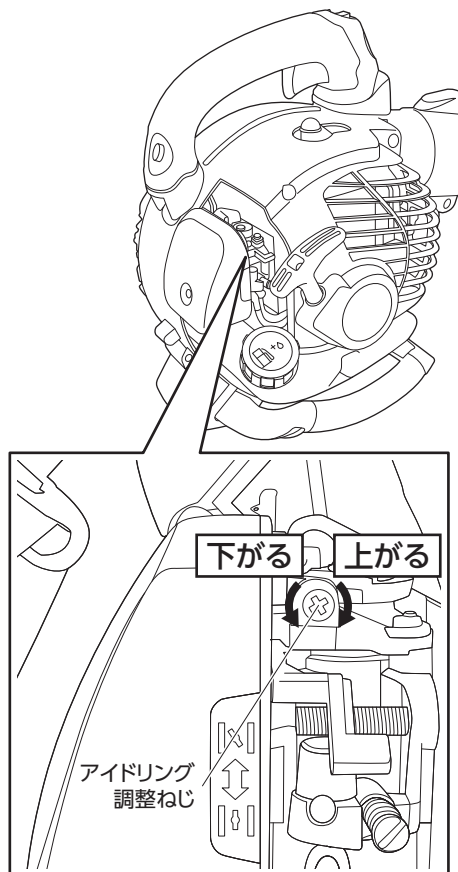
- エンジンの調整を誤ると、エンジンの最高回転速度が許容値を超えてエンジンが破損するおそれがあります。高速回転中のエンジン破損は、破片によって重大事故を招く危険があります。エンジン調整時は、下記の要領を必ず守ってください。

エンジンは工場出荷時に調整されていますが、運転条件(エンジンのなじみ具合、空気密度の変化等)により再調整が必要になる場合があります。

エンジンの調子が良くない場合は下記の手順に従って調整してください。下記の手順で調整しても改善しない場合はお買上げの販売店にお申しつけください。又は(株)高儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)にご相談ください。

### アイドリング回転数の調整

- 1.右図の位置にあるアイドリング調整ねじを付属のコンビボックススパナの先端に付いている⊕ドライバーで回してください。右に回すと回転が上がリ、左に回すと回転が下がります。
- 2.エンジンをかけ、2～3分中速で暖機運転した後、スロットルレバーを戻して様子を見てください。
- 3.本体を傾けるとエンジンが止まってしまう場合は回転速度を上げてください。



# お手入れ(続き)

## エアフィルターのお手入れ

### ⚠ 警告

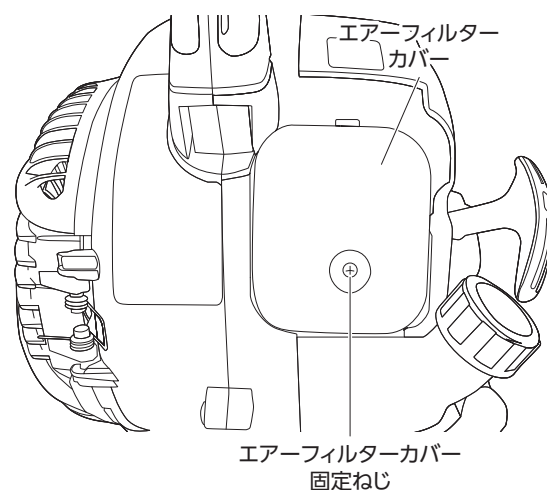
- エアフィルターの清掃は換気の良い場所で行ってください。

### ⚠ 注意

- エアフィルターが目詰まりしますと、エンジンの始動不良や出力不足、燃料消費量の増加等の原因となりますので、定期的に清掃をしてください。

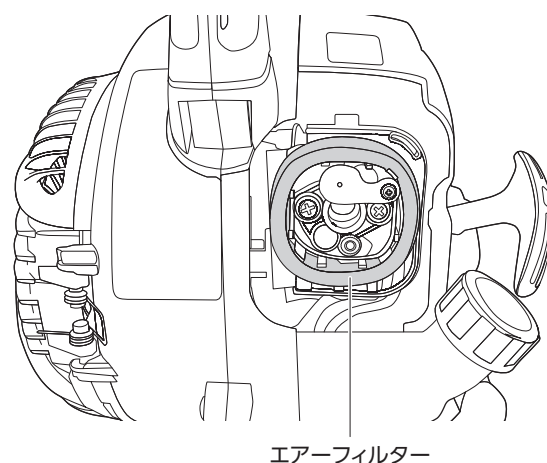
その日の作業を始める前に、1日1回を目安にエアフィルターのごみやほこりを取り除いてください。

- 1.エアフィルターカバーにあるエアフィルターカバー固定ねじを付属のコンビボックススパナの先端に付いている⊕ドライバーで外し、エアフィルターカバーを取り外してください。



- 2.エアフィルターを取り外し、付着しているごみやほこりを取り除いてください。

※洗浄してもフィルターの汚れがひどい場合や弾力がなくなったり傷みのある場合は、新しい物と交換してください。交換用のフィルターについてはお買上げの販売店にお申しつけください。



- 3.元のようにエアフィルターカバーを取り付けてください。



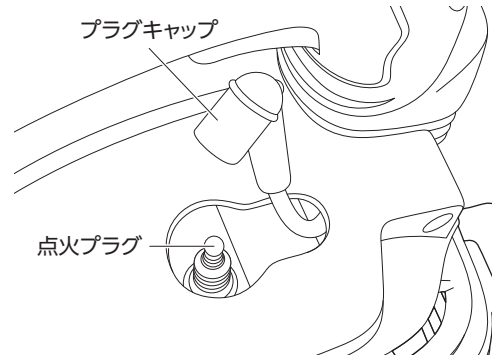
# 点火プラグのお手入れ

## 警告

- 電極が汚れていたり、電極のすき間が不適切だと正常な火花が飛ばなくなりエンジンの回転数が不均一になる等、エンジン不調の原因となります。
- 点火プラグの点検・清掃・交換・調整は完全にエンジンが冷えてから行ってください。

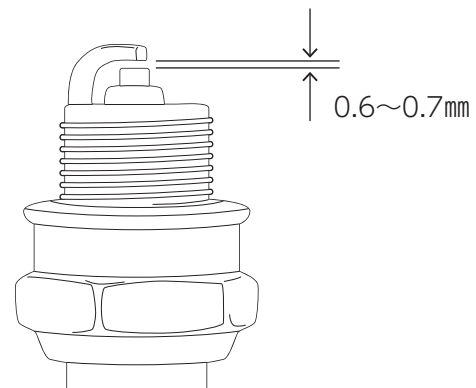
点火プラグの点検は25時間毎に行ってください。

1. プラグキャップを外して、点火プラグを付属のコンビボックススパナで外して点検してください。カーボンで汚れている場合は、プラグ用クリーナー・ワイヤーブラシ等でカーボンを落としてください。



2. 点火プラグの電極すき間は0.6~0.7mmが正常です。

※電極のすき間が適正でない場合は、側方電極を曲げてすき間の調整を行うか、新しい物に交換してください。



点火プラグ適合品

CHAMPION PCJ6Y

3. 点火プラグの取付けは最初指でねじ込んでから付属のコンビボックススパナで締め付けてください。はじめからスパナで締め付けるとねじ山が破損する可能性があります。

# お手入れ(続き)

## お手入れと保管

### 清掃

#### ⚠ 注意

- 絶対に本製品を水洗いしないでください。
- 本体のお手入れに、ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジン等は使用しないでください。  
(破損・故障の原因)

- 油やグリースが付着した場合は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。

### 定期点検

- 使用する前にひび・割れ・変形等の異常がないか点検してください。
- 各部取付ねじにゆるみがないか定期的に点検してください。もしゆるんでいるねじがあれば、しっかりと締め直してください。

### 保管について

#### ⚠ 警告

- 燃料がこぼれないように注意してください。こぼれた燃料は完全に拭き取ってください。
- 使用しないときは、直射日光の当たらない・風通しの良い・乾燥した場所で・お子様の手の届かない安全な場所や、鍵のかかる場所にきちんと保管してください。

#### ⚠ 注意

- 混合燃料がタンク内やキャブレター内に残ったまま長期保管すると、混合燃料が変質してしまうため、エンジンがかからなくなったり、燃料チューブなどの各種部品が劣化してしまいます。1週間以上使用しない場合は、必ず混合燃料を抜き取ってください。
- 保管時は、燃料タンクキャップをゆるめに締めてください。強く締め付け過ぎると経時変化によりパッキンが変形することがあります。

## ●長期保管方法

長期間(30日以上)使用しない場合は、下記の作業を行ってください。

- 1.燃料タンク内の燃料を抜いてください。
- 2.燃料を抜いたら、抜いた場所から3m以上離れた場所に移動し、エンジンを始動させて自然停止するまで運転させてください。(キャブレター内の燃料を抜く)  
※燃料を残したまま保管した場合、キャブレターの詰まり・作動不良の原因となります。  
※燃料を抜くときは、トレーなどを置いて周囲に燃料がこぼれないようにしてください。
- 3.点火プラグを取り外し、2サイクルエンジン専用オイルを1~2mlエンジン内に注油してリコイルスターターをゆっくり2~3回引いてください。
- 4.点火プラグを取付け、リコイルスターターを引いて抵抗を感じた位置で止めてください。作業時はオイルなどが飛散するおそれがありますので、保護めがねなどを着用してください。
- 5.火気が近づくがなく、直射日光の当たらない・風通しの良い・乾燥した場所で、お子様の手の届かない安全な場所や、鍵のかかる場所にきちんと保管してください。

# お手入れ(続き)

## 故障かな?と思ったら

### 警告

- 故障・異常時は直ちにスイッチを切りエンジンを停止させて使用を中止し、お買上げの販売店にお申しつてください。又は(株)高儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。
- 給油は、火気のないところで行ってください。爆発や火災の原因となり大変危険です。
- 機体各部の締結部品(ボルト、ナット、ねじ類)は必ず純正品又は指定品を使用してください。規定外品を使用すると、使用中に本体の破損や部品の脱落により不測の事故を招くおそれがあります。

■ 状態	■ 原因	■ 対処法
エンジンが始動しない	スイッチがOFFになっている	スイッチをONにする
	燃料がない	正しい燃料を補給(P.12~14参照)
	燃料が古い・燃料不良・水等が混入	正しい燃料に交換(P.12~14参照)
	エアフィルターが詰まっている	エアフィルターを清掃か交換する(P.23参照)
	燃料を吸い過ぎている	点火プラグを外してよく拭き取って乾燥させる(P.24参照)
	点火プラグ電極汚損、短絡、断線	点火プラグの清掃・調整又は交換をする(P.24参照)
	スイッチ故障(短絡)	お買上げの販売店に相談する
	燃料が回っていない	プライマリポンプを押す(P.17参照)
エンジンの出力不足や回転が不安定	エアフィルターが詰まっている	エアフィルターを清掃か交換する(P.23参照)
	点火プラグが汚れている	点火プラグの清掃・調整又は交換をする(P.24参照)
エンジンが止まらない	スイッチの故障(接触不良)	お買上げの販売店に相談する
スロットルレバーを戻すとエンジンが停止する	アイドリング回転数が低過ぎる	アイドリングの再調整(P.22参照)
スロットルレバーを戻しても風量が小さくならない	アイドリング回転数が高過ぎる	
燃費が悪化	エアフィルターの目詰まり	エアフィルターを清掃か交換する(P.23参照)

いずれの場合にもあてはまらないときはご自分で修理せず、お買上げの販売店にお申しつてください。または(株)高儀ホームページ(本書最終ページ参照)内の「お問合せ」より修理受付をしてください。

## お手入れチェック表

### 警告

●お手入れを行うときは、必ずスイッチを切りエンジンを停止させてください。

下記表を目安にお手入れを行ってください。

部位	お手入れ頻度	お手入れ方法
1.本体各部	毎回	エアーフィルターカバー周辺のオイル汚れの除去 (P.25参照)
2.エアーフィルター		ほこり・汚れの除去 (P.23参照)
3.点火プラグ	25時間毎 ※時間は目安です。	カーボンの除去、電極すき間の調整、必要な場合交換 (P.24参照)



# MEMO

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

# お買上げの後に(続き)

## 保証書

販売店名・お買上げ年月日を証明できる物(販売証明書やレシート等)が添付されていない場合、本書は無効となり、保証期間内であっても有料修理となります。必ずご確認ください。

- 保証期間内において取扱説明書などの注意書に従い、正常な使用・保管状態で故障した場合、本書により無償で修理致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、製品と本書に販売証明を付けた物をご持参のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

品名	EM エンジンブロワ			お買上げ日	年 月 日
型式	GBW-260EA	JAN コード	4907052 542396	保証期間	お買上げ日より6か月
販売店	販売証明書や レシート等を 添付してください。				

### 保証規定

- 保証内容は本製品自体の無償修理に限ります。  
保証期間内におきましても、その他の保証はいたしかねます。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
  - 使用上の誤り及び不当な修理・改造による故障及び損傷。
  - お買上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷。
  - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災・異常電圧による故障及び損傷。
  - 家庭用以外(例:業務用の長時間使用、車輛・船舶への搭載等)に使用された場合の故障及び損傷。
  - 本書の提示がない場合。
  - 本書に販売店名・お買上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字を書き換えられた場合、個人販売など販売店が不明な場合。
- 本書は付属品・消耗品には適用されません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。  
従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店又はホームページからお問い合わせください。
  - 修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。
- 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、基本5年間保有しています。\*  
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。  
\*製造部品によっては5年間保有できない場合もあります。

発売元  株式会社 高儀

株式会社 高儀 お客様相談窓口

※修理(見積り含む)・部品購入は、お買上げの販売店又はホームページからお問い合わせください。

TEL 0258-66-1233

受付時間 AM9:00~PM5:00(土日祝日及び弊社休日を除く)

ホームページ:

<http://www.takagi-plc.co.jp/>



#### ■お客様相談窓口における個人情報の取扱い

弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知したうえで必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただき、その記録を残すことがありますが、個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。